

医療法人社団 晴和会

子育てサポート企業として認定

一次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」マークを取得一

医療法人社団 晴和会

所 在 地：新潟市

事業内容：医業

労働者数：約440人



●行動計画

1 計画期間 平成27年9月1日～平成30年8月31日

2 行動計画の内容

- ① 子どもの看護のための休暇について、時間単位で取得できる制度を導入する
- ② 事業所内託児施設の利用について、柔軟な運営を行う

●行動計画の取組内容

① 仕事と子育てを両立するための働きやすい環境の提供を目的として、平成30年8月1日に就業規則を改正し、「時間単位の子の看護休暇制度」を導入した。
また、子の看護休暇の取得促進を図るため、制度の改正内容を社内掲示板に掲示し、全職員へ周知を行った。

② 事業所内託児施設の土曜日の利用について、固定であった利用可能日を職員の利用意向調査をもとに平成27年12月より拡充し、子育てをしながら働く職員の両立支援を図っている。

●その他の取組

- ・ 小学校就学の始期に達するまでの子と同居し養育している職員について、申出により所定外労働の制限を可能にしている。
- ・ 変形労働時間制を活用し、所定外労働の削減を図っている。

くるみん認定基準



1. 雇用環境の整備について、行動計画策定指針に照らし適切な行動計画を策定したこと。
2. 行動計画の計画期間が、2年以上5年以下であること。
3. 策定した行動計画を実施し、計画に定めた目標を達成したこと。
4. 策定・変更した行動計画について、公表および労働者への周知を適切に行っていること。
5. 計画期間において、男性労働者のうち育児休業等を取得した者の割合が7%以上であること。または男性労働者のうち育児休業等を取得した者および企業独自の育児を目的とした休暇制度を利用した者の割合が、合わせて15%以上であり、かつ、育児休業等を取得した者が1人以上いること。(平成31年3月31日までに申請した場合の経過措置：男性労働者のうち育児休業等をした者が1人以上いること。)
<労働者が300人以下の企業の特例>
上記5. を満たさない場合でも、①～③のいずれかに該当すれば基準を満たす。
 - ①計画期間内に、子の看護休暇を取得した男性労働者がいる。(1歳に満たない子のために利用した場合を除く)
 - ②計画期間内に、中学校卒業前の子を育てる労働者に対する所定労働時間の短縮措置を利用した男性労働者がいる。
 - ③計画期間とその開始前一定期間(最長3年間)を合わせて、男性の育児休業等取得率7%以上。(平成31年3月31日までに申請した場合の経過措置：計画の開始前3年内に育児休業等を取得した男性労働者がいること)
 - ④計画期間において、小学校就学前の子を養育する男性労働者がいない場合、中学校卒業前の子または小学校就学前の孫について、企業独自の育児を目的とした休暇制度を利用した男性労働者がいること。
6. 計画期間において、女性労働者の育児休業等取得率が、75%以上であること。
<労働者が300人以下の企業の特例>
上記6. を満たさない場合でも、計画期間とその開始前の一定期間(最長3年間)を合わせて計算したときに、女性の育児休業等取得率が75%以上であれば基準を満たす。
7. 3歳から小学校就学前の子を育てる労働者について、「育児休業に関する制度、所定外労働の制限に関する制度、所定労働時間の短縮措置又は始業時刻変更等の措置に準ずる制度」を講じていること。
8. 次の①と②のいずれも満たしていること。
 - ①フルタイムの労働者年の法定時間外・法定休日労働時間の平均が各月45時間未満。
 - ②月平均の法定時間外労働60時間以上の労働者がいないこと。
9. 次の①～③のいずれかを実施していること。
 - ①所定外労働の削減のための措置
 - ②年次有給休暇の取得の促進のための措置
 - ③その他の働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置
10. 法及び法に基づく命令その他関係法令に違反する重大な事実がないこと。

これまでの認定企業一覧（平成30年12月7日現在）

○ プラチナくるみん認定企業

	企業名	所在地	認定年
1	一正蒲鉾株式会社	新潟市	2015年
2	株式会社 市民調剤薬局	新潟市	2016年
3	株式会社 博進堂	新潟市	2016年
4	株式会社第四銀行	新潟市	2018年

○ くるみん認定企業

	企業名	所在地	認定年
1	一正蒲鉾株式会社	新潟市	2007年、2010年、2013年
2	株式会社第一印刷所	新潟市	2008年、2013年
3	株式会社第四銀行	新潟市	2008年、2012年
4	株式会社博進堂	新潟市	2008年、2012年、2013年
5	株式会社大光銀行	長岡市	2010年、2015年
6	株式会社ジェイマックス	長岡市	2010年
7	株式会社北越銀行	長岡市	2010年、2015年
8	国立大学法人新潟大学	新潟市	2011年
9	株式会社リボーン	上越市	2012年、2014年
10	星野電気株式会社	新潟市	2013年
11	新潟電子工業株式会社	新潟市	2013年、2017年
12	株式会社コロナ	三条市	2013年、2017年
13	株式会社キタック	新潟市	2013年
14	株式会社富士通新潟システムズ	新潟市	2013年、2017年
15	株式会社ナルス	上越市	2013年
16	愛宕商事株式会社	新潟市	2013年
17	株式会社市民調剤薬局	新潟市	2013年
18	協栄信用組合	燕市	2013年
19	旭カーボン株式会社	新潟市	2014年
20	新潟県信用農業協同組合連合会	新潟市	2014年、2017年
21	医療法人恵生会	新潟市	2014年
22	昭栄印刷株式会社	新発田市	2014年、2016年
23	株式会社メビウス	新潟市	2014年
24	株式会社オスボック	十日町市	2015年
25	医療法人愛広会	新潟市	2015年
26	西蒲原土地改良区	新潟市	2015年
27	株式会社ソリマチ技研	長岡市	2016年
28	株式会社マルサン	新潟市	2016年
29	株式会社エム・エスオフィス	長岡市	2016年
30	株式会社弘新機工	新発田市	2016年
31	株式会社ブルボン	柏崎市	2017年
32	株式会社原信	長岡市	2017年
33	学校法人新潟総合学院	新潟市	2017年
34	株式会社本間組	新潟市	2017年
35	株式会社ザ・ミンツ	新潟市	2017年
36	亀田製菓株式会社	新潟市	2018年
37	公益財団法人 新潟市開発公社	新潟市	2018年

38	株式会社サカタ製作所	長岡市	2018 年
39	帝石パイプライン株式会社	柏崎市	2018 年
40	富士ゼロックス新潟株式会社	新潟市	2018 年
41	藤田金屬株式会社	新潟市	2018 年
42	株式会社アクアシガータ	新潟市	2018 年
43	医療法人社団 晴和会	新潟市	2018 年

(注) 公表を希望しない企業を除いています。